

災害復旧事業に係る 各賞受賞について

◇はじめに◇

昨年は新潟中越地震や台風上陸数が過去最高を記録する等、全国的にも非常に災害が多い年となりました。そんな中、社団法人全国防災協会から他の自治体の模範となる事業やこれまでに災害復旧業務に多大な貢献をされた方に対して送られる名誉ある賞を受賞しましたので、紹介いたします。



【平成 16 年度災害復旧技術発表表彰 最優秀賞】

◇ 平成 11 年災 二級河川雪谷川 災害復旧助成事業

・河川災害復旧等関連緊急事業(岩手県：二戸地方振興局土木部)

発表概要：平成 11 年 10 月 27～28 日にかけての豪雨により氾濫し、軽米町を中心に甚大な被害を及ぼした二級河川雪谷川の災害復旧助成事業(以下、「助成事業」)及び河川災害復旧等関連緊急事業(以下、「復緊事業」)に関するものである。改良復旧事業の計画・実施に際し、「人と自然が共生し、みんなで支え育む雪谷川」をモットーとして住民参画に取り組み、地域住民の意見を反映させた形での自然環境の保全と復元を実践した同事業の概要を発表。



限定された期間内で早期復旧が求められる災害復旧事業において、計画段階から整備懇談会やワークショップ等を密に開催することで地域住民の意見を改良計画に積極的に反映させ、地域と一体となり事業実施に取り組んだこと。また、施工業者への自然環境への配慮を周知徹底し、既存の生態系の保全と復元を果たしたこと等、非常に密度の濃い事業を短期間で実施したことが高く評価された。

【平成 16 年度災害復旧優秀事業表彰：優秀賞】

◇ 平成 10 年災 一般県道西山生保内線道路災害復旧工事(岩手県：盛岡地方振興局土木部)◇

発表概要：平成 10 年 9 月 3 日に発生した震度 6 弱の内陸北部地震により大規模な長大法面崩壊や転石が生じ、総延長 3.6km に渡って被災した一般県道西山生保内線の道路災害復旧工事に関するものである。復旧を進めるにあたっての国立公園管理者他、複数の関係機関との協議や、一部ルート変更の実施、また現地調査から工事実施に渡っての猛禽類等希少野生動物への配慮も行いながら早期復旧を図った事業概要を発表。

早期復旧が求められる中で、事業の実施にあたって国立公園や国有林野への配慮を各関係機関を交えた連絡協議会を開催することにより対応したこと。特に絶滅危惧種については現場の施工担当者全員に希少野生動物について勉強会を開催する等、生態系への配慮を最大限行いながら、大規模な地震災害の早期復旧を行った点が評価された。また国立公園・国有林野内における経済性・安全性・自然環境に配慮したルート選定として他の自治体の模範となる計画であったことから、災害復旧事業の開発や普及に寄与する代表的な事業であると認められ、今回優秀賞の受賞となった。

